

人体機能学実習		実習	講師 木下 美聡	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門基礎科目		科目ナンバリング	12311202

1. 授業のねらい・概要

主に運動器系の機能評価で使用される測定機材の扱い方を学ぶと共に、それらを用いた測定方法について学習する。また、得られたデータのまとめ方や解釈の仕方についても理解を深める。

2. 授業の進め方

測定機材を用いた実習形式が中心となるが、パワーポイントや配布資料を用いた講義形式も組み込む。

3. 授業計画

1. 運動における筋と神経の関係について（講義）	9. 徒手筋力測定（下肢の実習）
2. 感覚について（講義）	10. 下肢パワーの測定（実習）
3. 上肢関節の可動域測定（実習）	11. スピード&アジリティの測定（実習）①
4. 下肢関節の可動域測定（実習）	12. スピード&アジリティの測定（実習）②
5. 柔軟性および関節弛緩性の評価（実習）	13. 静的バランスと動的バランス能力の測定（実習）①
6. 下肢アライメントの評価（実習）	14. 静的バランスと動的バランス能力の測定（実習）②
7. 筋力の測定方法について（講義）	15. 総合復習（講義全体のまとめ）
8. 徒手筋力測定（上肢の実習）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各单元ごとに実施する確認テストのための学習（各单元ごとに学習した内容の復習）を30分～1時間程度行ってください。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ①授業内に確認テストを行い、授業キーワードを説明します、そのことにより知識と技術の融合をはかります。
- ②提出頂くレポートに対してコメントを致します。そのコメントにより知識と技術の定着をはかります。

6. 授業における学修の到達目標

測定機材の扱い方をマスターし、基本的な人体機能計測（主に運動器系）ができるようにする。また、測定データのまとめ方やその基本的解釈も身につける。

7. 成績評価の方法・基準

各測定（測定のポイント、データのまとめと解釈）に関するレポート（60%）、確認テスト（40%）を基準として総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

必要資料は、授業中に適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

- 1) 本講義は、対面で行いますが、補助教材は学生のメールアドレス、あるいは、google classroom に一斉送信することがあります。その際は、それぞれプリントアウトして利用してください。
- 2) 提出物は、指定された様式にて提出してください。（提出物には必ず、所属、学籍番号、氏名等の連絡先の記入をお願いします。）
- 3) 教員へのコンタクト方法：教員への直接の質問は授業後、又はオフィスアワーで受け付けます。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。